

ぼくの名前は今回の特別展「わたしたち『収蔵庫』にいるんです」のPRキャラクター「しゅうぞうくん」だよ。今回の特別展では、いのちのたび博物館の収蔵庫に保管している、普段は見ることができない貴重な自然史資料をたくさん展示しているんだ。「ここだけ!」をキーワードに、見逃せない特別展の見どころを紹介するね。

かいき 会期
3/6(土)~4/4(日)

博物館とは、モノを集めて、保管し、未来へ伝える場所
それは、人と自然が出会うことから始まるストーリーなのです

ここだけ①



マダガスカルで見つかった白亜紀後期の肉食恐竜の骨格標本。スズの登場だけど、すごいでしょう!

マジュンガサウルス



ここだけ②

ヒキダコウモリダコ

約8300万年前(白亜紀後期)にいた史上最大のタコの仲間! 収蔵庫で数十年間保管されていた岩石から発見され、2015年に新種として発表されました。襲ってきそうな迫力!



オニバスという直径1mを超える巨大な葉を水面に浮かべる植物! 会場には、葉のレプリカがあるよ! 大きさを実感してね!

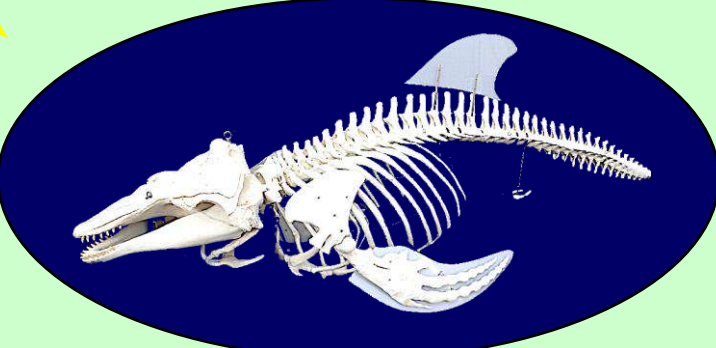
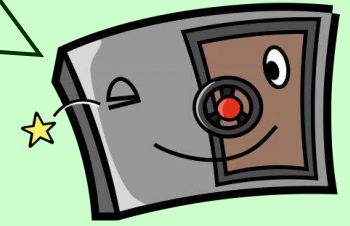


ここだけ③

ここだけ④

コビレゴンドウ

2019年6月、突如、小倉港に出現したコビレゴンドウ。北九州市初確認だったんだ。ニュースにもなったからみんなも知ってるよね。今回、初登場だよ。



【学芸員のよもやまばなし】

さぼく 砂漠のバラ

砂漠の砂の中から花束のような形をした石が出てくることがあります。一般に「砂漠のバラ」あるいは「砂のバラ」と呼ばれるもので、石膏という鉱物の結晶が集まってできています。重晶石という鉱物でできている場合もありますが、石膏タイプに比べると産地が少なく珍しいものです。

砂漠のバラは世界中の乾燥地帯から産出します。サハラ砂漠のものが有名で、大人の背丈ほどもある大物が市場などで売られているそうです。形はさまざまで、まさにバラの花のようであったり、※印のようであったり、クログルミの種のようなようであったりします。

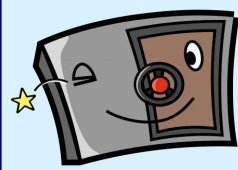
色もさまざまです。石膏は、不純物が少なければ無色か白色の鉱物です。しかし、砂漠のバラは地下水などから結晶するとき周りの砂を取り込むので赤褐色をしていることが多いです。例えば、アフリカのサハラ砂漠や中国のバダインジャラン砂漠から産出するものは「赤バラ」です。アメリカのモハーヴェ砂漠では「黄バラ」、ペルーのパラカス砂漠では「黒バラ」、メキシコのチワワ砂漠では「白バラ」の産出が知られています。砂漠のバラの色は産地の大地の色なのです。

北九州市で学芸員をしていると、市民の方から砂漠のバラをご寄贈いただくことがあります。砂漠のバラ自体はすごく珍しいというものではありませんが、しばしば寄贈をいただく(しかも大物が多い)ので不思議に思っていました。そこで寄贈者の方にうかがったところ、「アフリカにプラント建設の仕事で行ったときに入手した」というお話を複数いただきました。つまり、技術者としてアフリカ出張し、そこで砂漠のバラを手に入れたというわけです。工業都市・北九州らしいエピソードだなと納得しました。



自然史課学芸員 森 康

写真説明:各地の砂漠のバラ。左の「赤バラ」は中国のバダインジャラン砂漠、中央の「黄バラ」はアメリカのモハーヴェ砂漠、右の「黒バラ」はペルーのパラカス砂漠のもの。大きさはいずれも10センチメートルくらい。



常設展と特別展をまわって、「スペシメンカード」を集めよう! 展示してある「スペシメン(標本)」を、当館学芸員が写真と熱くて濃いコメントで解説しているオリジナルカードだよ! レアカードあるかも?!

	一般	高校・大学生	小学・中学生
特別展	300円(240円)	200円(160円)	100円(80円)
常設展	600円(480円)	360円(280円)	240円(190円)
セット券(特別展+常設展)	800円(680円)	500円(430円)	300円(260円)

※()内は30名以上の団体料金 ※未就学児は無料



スペシメンカード